

事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和6年 3月19日

事業所名： ブルースター

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			
	②	職員の配置数は適切である	○			
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○			
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		活動に応じて個室を使用したり、整理整頓に心がけ心地よく過ごせるよう配慮しています。	
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○			
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○			
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		委員研修や職種別研修等行なっています。	今後も積極的に研修に参加し、情報共有を行なえる環境を整えていきます。
適切な 支援の 提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		保護者様の思いを確認しながら、支援計画を作成しています。	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		利用児さんの特性や発達に合わせた支援内容を作成できるよう努めています。	

	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○			
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	○			スタッフ間で話し合いながら計画しています。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			季節や天候に応じてその都度工夫しながら行なっています。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	○			
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			送迎後、利用児さんのその日の体調確認等の情報共有を行ない、支援内容や役割分担を確認。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			口頭や事業所メール等で報告し情報共有をできるようにしています。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○			最低でも2回/年、また必要時はその都度モニタリングを行なっている
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○			
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	○			関係機関には担当者会議をしていただくことにより、顔合わせができています。また必要時には連携を取り状況報告等行なっています。
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	○			
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている		○		移行支援としての事例がありません。対象となる方がいるときは情報共有、相互理解に努めます。
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○			
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○			
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	○			ハロウィンの際に社会福祉法人の保育園に協力してもらい、園庭にて園児や先生と交流。コロナ禍だったのでつたてや距離感等配慮していただきました。(ありがとうございました!)

	②9	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○		管理者が参加。	管理者以外のスタッフも参加できるようにしています。
	③0	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		利用時の連絡帳や送迎時、メール・電話等で状況報告は行っています。	
	③1	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○			
保護者への説明責任等	③2	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			
	③3	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○			
	③4	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		利用時の連絡帳や送迎時、メール・電話等で日々の活動について報告し、相談等も承っています。	
	③5	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		ママ会を実施しました。	また、親子参加型の交流会も例年実施しています。また、パパ会も検討中です。
	③6	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		スタッフ間で情報共有を行ない、迅速な対応をするように心がけています。	
	③7	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		定期的に通信を発行しています。	
	③8	個人情報の取扱いに十分注意している	○			
	③9	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		特性に応じた配慮を心掛けています。	
	④0	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○			マルシェを開き地域の方々にもご協力いただきたりして交流の機会を設けています。☑ ☑
非常時等の対応	④1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		マニュアルはあり、スタッフに周知、発生に対応した訓練は行っています。	ご要望があれば保護者様にも事業所内で閲覧できるよう所定位置に置いています。
	④2	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		3事業所合同2回/年、当事業所単独での訓練は2回/年の計4回/年実施。	
	④3	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認している	○		契約時に利用児さんの状態把握のため確認しています。	

④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○	経口摂取の場合、母親に確認後摂取。	自宅で食べたことのないものについては、基本当事業所でも摂取はしませんが必要であれば保護者様に依頼し、医師の指示書をいただけるようお願いする場合があります。
④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			
④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		3事業所の委員で話し合いを行ない、内容を研修内容に反映し周知できています。	
④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		契約時に説明を行ない、計画にも導入し同意を得るようにしています。	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

保護者からの事業所評価の集計結果（公表）

別紙4

事業所名：ブルースター

保護者頭数（児童数5名 回収数5名 割合100%）

		チェック項目	はい	どちらとも	いいえ	わから	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	5					
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	4			1	毎日何人出勤しているのかわからない。	配置数に関しては定められた基準にて配置しています。
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特徴に応じ、事業所の整備等は、バリアフリー化や情報伝達等の配慮が適切になされているか	5					
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となつているか	5					
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析されたうえで、児童発達支援計画が作成されているか	5				相談・説明があつたうえで適切な支援計画が作成されていると感じる。	今後もニーズに合わせて、その都度相談させていただきながら、支援計画を作成してまいります。
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	5					
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	5					
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	5					
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	2	1	1	項目にあるような交流は聞いたことがないような気がします。	ハロウィンイベントにて社会福祉法人の保育園で交流させていただきました。感染に注意しながら機会を増やしていこうと思います。
保護者への説明等	⑩	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	5					
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	5					
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	3	2				事業所での様子、また自宅でも取り入れられるような支援をその都度説明させていただいております。

	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	4	1				連絡帳や送迎時での会話、必要であれば電話やメールにて情報共有をさせていただきます。
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	5					
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	4		1		保護者会はない。あっても参加できないが、。	父母の会、保護者の会は希望があれば開催する予定です。
	⑯	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	3	2			相談・申し入れについては安全面を考慮されたうえでお断りされることもある。安全面優先で対応されている事には感謝しています。	感染症に罹患したご家族がいる際は、利用をお断りさせていただいております。
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	4	1				連絡帳や送迎時での会話、必要であれば電話やメールにて情報共有をさせていただきます。
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	5					
	⑲	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	4			1	細かいところはわからない。	個人情報の取り扱いには注意しています。
非常時等の対応	⑳	緊急対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	4	1				マニュアルはあります。また、発生に対応した訓練は行えています。ご要望があれば保護者様にも事業所内で閲覧できるように所定位置に置いておきます。
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	4	1				3事業所合同2回/年、当事業所単独での訓練は2回/年の計4回/年実施しています。
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	5				入院続きから通所できるようになると表情が生き生きしています。	
	㉓	事業所の支援に満足しているか	5					

○ この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。